

裏路地探険

城崎温泉を過ぎて北上し、円山川河口にある港橋を渡ると、そこは豊岡市津居山。潮の香りが漂う港町の風景が広がる。冬場は松葉がにの港として有名だ。青いタゲの付いた「津居山か」は、山陰有数のブランドガコとして知られている。

津居山の歴史は古く、かつては「津山湊」と呼ばれていた。室町時代に書かれた朝鮮の古文書にも、但馬国津山関が登場する。

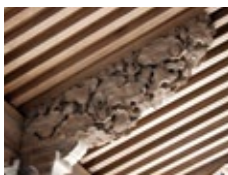
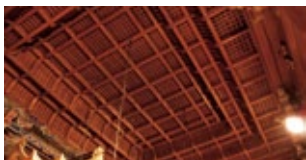
天然の良港に恵まれたこの地には海の関所があり、大陸からの文化もここから伝わったとされる。

1500年代から「津居山」という表記が見られ始め、昭和初期まで「津山」と半々で呼ばれていたそう。大小2つある山が対になって見えるから、「ついの山」と呼ばれるようになったという説もある。

「ここは島なんですよ」とは、案



八幡神社境内にある石造九重の塔。鎌倉中期のものとされ、出雲に運ばれる途中だったが、何度もシケで戻ってきたため、津居山に据えられたといわれる。兵庫県指定重要文化財。



本堂は文化的価値が高く、意匠を凝らした建具や彫刻が随所に見られる。



浄土真宗本願寺派の一乗山照満寺。西本願寺が火災の際に、一番乗りに乗ったことから、一乗山の山号が名付けられたと伝わる。大正12年の建立で、北但大震災の被災もまぬがれた立派な建物である。



海に向かって鎮座する浜地蔵。花崗岩で造られ、丹後の舞鶴から運ばれてきたものと伝わる。大きな火災の際には、何度も食い止めたといわれ、そのためか、顔は溶けている。海の安全を願う守護仏として、今でも住民に愛される。但馬六十六地蔵の第57番。



八の文字が「鳩」になっている扁額。



津居山の氏神で、祭神は応神天皇を祀る。古くとも500年前に建立されたものと伝えられ、地元では「八幡さん」と呼ばれている。八の字が鳩が向かい合う姿になっていることから、神奈川県の鶴岡八幡宮から遷宮されたと考えられている。中世は砦跡とされる。

かつては「津山関」と呼ばれた海上交通の要所
 かわいのお地蔵さんと出会える趣のある路地
 潮風に吹かれながら、港町をのんびり歩こう！

内役をお願いした川崎明夫さん。津居山に架かる橋は全部で3本。北から港小橋、初代の港橋の横に2代目が架けられ、ここが「島」だということに気づかされる。

津居山が島であるという事実は、アメノヒボコの但馬開拓で知られる「瀬戸の切戸」伝説でも教えてくれる。伝説ではアメノヒボコが津居山と瀬戸地区との間の大岩を切り開いて、但馬の地を沼地から田畑に変えたという。現在の瀬戸運河は小型の漁船が停泊し、風情のある佇まいが今も息づいている。

また、江戸期には「津居山港船改所」が置かれ、米の集積地として、北前船の風待ち港として、諸国の廻船が行き交った。この辺りには船宿も多くあった他、物資を保管した浜蔵が9つも置かれていた。

北前船の面影は、円山川河口付

但馬漁業協同組合 津居山直販店
フィッシャーマンズ・ビレッジ

地方発送もできます！

漁協直売
 イカの一夜干し
 サザエなど
新鮮!

兵庫県豊岡市瀬戸77-21
 【営】8:30～17:00 【休】火曜(祝・夏季、冬季は除く)
 TEL.0796-28-3148 http://www.jftajima.com/tsuiyama_shop/

津居山港とれたてのお料理でおもてなし
 日和山海岸／料理旅館

みはら荘
 兵庫県豊岡市気比 3880-10
<http://miharasou.jp/>

気比の地魚ランチ
 お一人様 1,500円～

とれたて新鮮!
釜飯お三ニ会席
 お一人様 2,500円～
 ※写真はイメージです
 お食事は11時～14時半

ご予約はこちら
 TEL.0796-28-2281

気比の浜まで徒歩すぐです。散歩や釣り、ドライブがてらお気軽にお越しくださいませ。

●裏路地探険に参加してみませんか!

平成23年7月9日(土) 10:00 ~ 12:00

「橋りょうの町・余部を歩く」香美町香住区余部

*実施日の10日前までに、18ページ掲載のT2編集部へ、住所・氏名・年齢・電話番号・「裏路地参加希望」とお書きの上、ハガキで申し込みください。開催は午前中、現地集合・現地解散となります。申込締切日後、案内を参加ご希望の方へ送付致します。



北但大震災の際に倒壊した八幡神社の鳥居を、記念碑として建立。「献」の文字がその名残り。



『勇城』を親方とする相撲部屋(港組)があり、師匠を讃える顕彰碑を弟子が建立した。



湾の入り口にある「和船係留跡(右)」。手前にある階段状の「段々岩」は、見張り岩ともいわれ、監視場所だったとされる。



八幡神社本殿の脇に建つ亀塚。亀は縁起物とされ、江戸後期、久美浜代官所に献上された。その後、亀の供養と大漁を願い、塚が建立された。代官による津居山をもじった和歌が刻まれている。



近に見ることが出来る。岩場には人工で造られた係留跡が点在。これは和船が向かい風の時、湾奥に入るために次々と綱をたぐり寄せて入港するためだったと考えられている。

集落内は間口が狭く、奥行きのある「うなぎの寝床」といわれる家々が軒を並べる。細い路地が所々に延びるが、他の港町のように入り組んではない。碁盤の目上に区画が整理されていることが、津居山の町並みの特徴だ。

これは大正14年5月の北但大震災で壊滅的な被害を受けた際、今の区割りになったそう。

路地のあちらこちらでは、かわいらしいお地蔵さんが迎えてくれる。地区内は8町あり、それぞれに地蔵を祀っているのだとか。

中心部の海を見渡す場所に鎮座する「浜地蔵」は、町のシンボル。但馬六十六地蔵のひとつでもあり、海の守護仏として信仰を集めてきた。舞鶴から船で運ばれてきたとされ、地蔵を浜に揚げると海が凪になったことから、この地に安置されたという伝承が残っている。

至る所で海にまつわる遺構や伝承に出会うことできる津居山港町。穏やかな夏の潮風に吹かれながら、またゆっくり歩いてみたい。

大正十年創業 老舗蒲鉾工場

かま ぼこ

蒲二鉾

城崎マリンワールド

津居山港

日本海

気比の浜

159

二方蒲鉾

蒲鉾・竹輪・天ぷら工場直売

熟練の職人による生産

揚げたての天ぷら

まるごとブチトマトボール

お申元商品も承ります!

日頃お世話になる方へ感謝の贈り物はいかがですか?

兵庫県豊岡市瀬戸751-1 TEL.0796-28-3121

【営】9:00~17:00 【休】土曜 <http://www.futakata.co.jp/>

「ちくわパン」や「コウトリの舞」野菜の天ぷらが人気

魚の旨味を凝縮したこだわりの蒲鉾